

【連載寄稿】

【連載寄稿】

旅行記 城めぐり(6)

旅行記 城めぐり《6》

佐々木 進

(昭和40年採鉱科卒)



今回は「日本100名城」の内、関西の「竹田城跡」「赤穂城」「姫路城」をご紹介します。

竹田城跡は、JR播但線「竹田駅」の西側の小高い山上に位置している。朝早く宿泊所からでて、竹田城の雲海に浮かぶさまを見るために円山川を挟んで対岸の立雲狭に上る。立雲狭には第1～第3展望台があるが、最も高い位置は第1展望台である。朝が白と明けてはきたものの竹田城跡にはガスがかからず小一時間、粘っては見たがあきらめるほかはなかった。何度も来られている方にお聞きしたのですが、秋から初冬の時期に年10数回程度みられるということに納得しました。すくさま丸山川を横切り、竹田城跡に向かった。



竹田城跡

竹田城跡は別名「虎臥城」と呼ばれ、南北400m、東西100mの規模で、天守台の標高は353.7mである。石垣は、自然石をあまり加工せず積み上げる「野面積み」で築かれており、安土城などの



本来ならば見えた雲海の城

築城で活躍した石工集団「穴太衆」が築いたものに似ていることから、「穴太積み」と呼ばれることもある。その石垣は400年を経た現在でも当時の威容をそのままに誇り、堂々たる石垣群に圧倒されました。また、1989年に映画「天と地と」のロケが行われたそうです。



穴太積み石垣

尚、竹田城は但馬守護であった山名持豊(山名宗全)が室町時代中期の1400年代中頃に築城されたといわれている。

赤穂城は、1645年常陸国笠間から53,500石で入封した浅野長直が近藤三郎左衛門正純(赤穂藩家老・軍学者)に命じ、1648年から1661年まで13年を費やして完成させた城である。



赤穂城

- 赤穂城の特徴としては、
- ①石垣を屈曲させて二方面の攻撃を考慮した甲州流軍学の横矢掛かりを駆使した縄張りである。
- ②熊見川(現加屋川)が形成した三角州の先端に立地した平城であり、往時は瀬戸内海に面していたことから干潟門、水手門、舟入が設けられた海城であった。



赤穂海城

③元禄14年、江戸城松之廊下における藩主浅野内匠頭長矩が吉良上野介義央に斬りつけた刃傷事件に端を発し、四十七士の吉良邸討ち入りへと続く「忠臣蔵」の舞台となった城である。城内には大石内蔵助をはじめ四十七義士を祭神とした赤穂大石神社、大石良雄宅跡長屋門(現存)など赤穂義士ゆかりの史跡が多数あります。

世界文化遺産・国宝・姫路城

皆さんがよくご存じなので説明は省略させていただきます。写真だけで十分でしょう。



姫路城 1



姫路城 2



姫路城 3

※姫路城のパンフレットから「千姫物語」を抜粋します。

徳川家康の孫娘千姫は、7歳で大阪城の豊臣秀頼のもとへ輿入れをしました。しかし、秀吉死後の後、大阪夏の陣で夫・秀頼は自害し、豊臣家は滅亡。千姫は燃え盛る炎の中から助け出されました。江戸城に帰る途中、警護に当たっていた本多忠政の息子・忠刻と再婚。千姫20歳、忠刻21歳。千姫の化粧料(持参金)10万石で、姫路城の三の丸には武蔵野御殿と呼ばれる千姫の屋敷が建てられたといわれ、城内の池泉回遊式庭園や高砂沖に船を浮かべ、仲良く連歌を楽しんだとの話も。勝姫と幸千代の一男一女に恵まれ「千姫は、夫・忠刻と暮らした姫路城での生活(10年間)が生涯で一番幸せだった」と今でも語られています。しかし、長男・幸千代が3歳のとき病で亡くなり、5年後には、夫・忠刻も31歳の若さで病に倒れます。江戸へ帰った千姫は、髪を下ろして「天樹院」と号し、夫や息子を想いながら竹橋御殿で余生を送り、70年の生涯を閉じました。

追記

現在「日本100名城」の城めぐりは97城に達しました。残り3城ですがコロナの感染拡大が始まってしまい、動けなくなってしまいました。

GOTOが始まったらすぐにも沖縄で100名城を達成したいと思っています。

城めぐりは楽しいので皆さんもいかがでしょうか？

\*\*\*\*\*

**地盤調査・土質試験・土地家屋調査  
土木設計・一般測量・さく井調査**

**株式会社 ジーオ Geo Co, Ltd**

代表取締役 佐々木 秀人  
取締役 佐々木 進(昭和40年採鉱科卒)

本社 東京都調布市東つつじヶ丘3-41-31  
〒182-0005  
TEL 03(3308)7591  
FAX 03(3308)7597  
E-mail: geo@msj.biglobe.ne.jp

**株式会社 汎建築設計事務所**

代表取締役 鈴木 誠一 (昭和38年建築科卒)

一級建築士  
コスト管理士

秋田市保戸野すわ町14-23  
TEL 018-862-3449  
FAX 018-862-3289  
E-mail: han\_0416@cna.ne.jp  
URL: http://www.cna.ne.jp/han\_0416/

**四季の語らい、くつろぎのひととき。**

BANQUET 宴会・会議  
CCOMMODATION 宿泊  
RESTAURANT レストラン

**アルカディア市ヶ谷**  
私学会館

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25  
https://www.arcadia-jp.org TEL03-3261-9921(代表)